

人を超える表現能力を持つアンドロイドアバターの研究開発

概要

アンドロイドアバターに映像や音などの多様な表出デバイスを統合することで、人以上に多様な表出方法を用いながら他者と対話できる対話インタフェースを実現することができます。対面に対話するより、意図や感情などを明確に伝えることができるようになります。

特徴

- ビデオ会議などの遠隔対話インタフェースを用いると、様々な非言語情報が欠落するため、対話しにくさを覚えることがあります。一方で、アンドロイドアバターを遠隔対話のインタフェースとして用いると、アンドロイドの人らしい動きによって、対話相手は、操作者がその場にいなくても、対面しているように対話することができます。
- さらに、アンドロイドアバターに、映像や音などの多様な表出デバイスを統合することで、操作者がその場にいる時以上に、表現能力を使った対話が可能です。これまでに伝えることが難しかったような意図や感情も伝えられることが期待できます。
- アンドロイドアバターを用いて操作者の対話能力拡張を実現できます。

今後の展開

- 操作者の発話内容や、対話状況から、自動的に対話相手に意図や状況を非明示的に(対話相手に認知負荷をかけずに)伝える映像・音表現を探索していきます。

テーマ「ともに究め、明日の社会を拓く」との関連

- 人の可能性を広げるアバター技術によって、大阪・関西万博テーマ事業「いのちを広げる」に貢献します。

